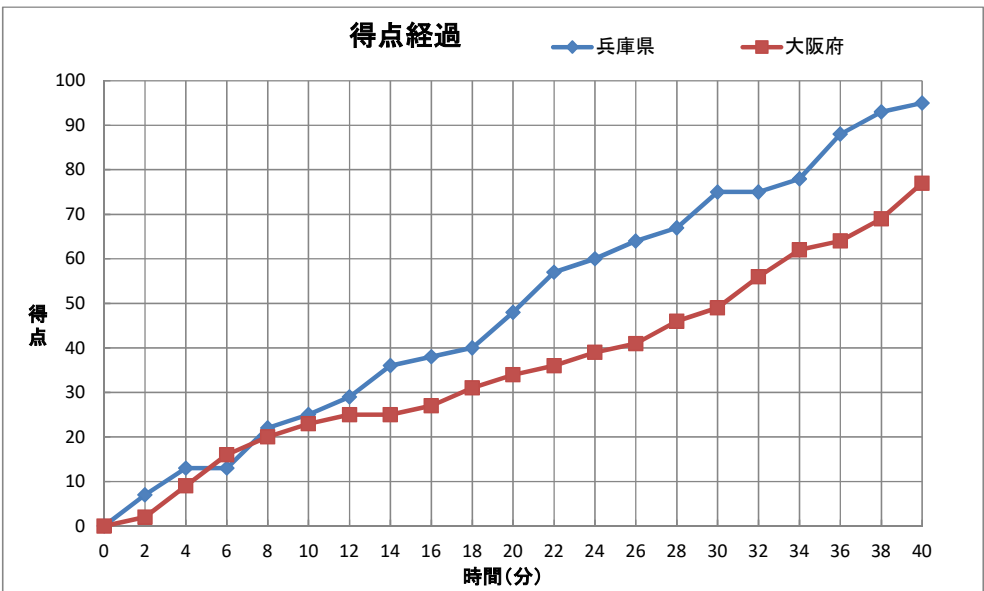


個人トータル表

少年男子		令和5年8月13日		10:00 開始													
準決勝		グリーンアリーナ神戸		A													
◎ 兵庫県		95		77 大阪府													
		<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>28</td></tr> </table>		25	1st	23	23	2nd	11	27	3rd	15	20	4th	28		
25	1st	23															
23	2nd	11															
27	3rd	15															
20	4th	28															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	福本 有都	31	2	7	11	0	* 4	米田 翔	15	3	3	0	2				
5	大坪 蒼哉	10	0	4	2	2	* 5	羽田 瑛人	4	0	2	0	3				
6	岸田 卓	0	0	0	0	0	6	稲垣 圭亮	4	0	2	0	1				
* 7	松本 晃瑤	14	0	5	4	2	* 7	中石 昊希	12	1	4	1	3				
* 8	常深 星良	17	5	1	0	2	* 8	高木 秀隼	5	1	1	0	3				
9	大野 駿	4	0	1	2	2	9	和氣 宥希	13	3	1	2	1				
10	橋 利一	0	0	0	0	0	10	眞田 恵知	5	1	1	0	1				
11	肥塚 琉生	0	0	0	0	1	* 11	山縣 奏太	8	0	3	2	3				
* 12	川村 海誠	8	0	2	4	1	12	川口 寿音歩	2	0	1	0	1				
13	齋藤 貫道	3	1	0	0	0	13	竹内 爽良	2	0	1	0	0				
* 14	山本 優斗	6	0	3	0	3	14	馬越 光希	3	0	1	1	0				
15	田中 空雅	2	0	1	0	0	15	中河原 温大	4	0	2	0	1				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
コーチ	沼波 望						コーチ	浅井 直将									
Aコーチ							Aコーチ										
合計		95	8	24	23	13	合計		77	9	22	6	19				
クルーチーフ: 上 西 星 太																	
1stアンパイア: 川 路 宗 勅				2stアンパイア: 堤 健太郎													



TO	1・2Q		3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	32:37	:	:	:	:	:
TeamB	13:56	16:19	22:29	35:09	:	:	:	:

【戦評】

【第1Q】兵庫はオールコートのプレスディフェンスで仕掛けて、#12川村のフリースローや速攻で先行する。対する大阪は#4米田の速攻や3Pで巻き返し、残り7分で7-9と逆転する。その後はお互いに得点を取り合う展開となる。残り3分から兵庫が#7松本のゴール下や#4福本の3Pやバスケットカウント+ワンスローなどで22-18と兵庫がリード。その後は大阪#9和氣と兵庫#13齋藤が3Pを決め、25-23兵庫リードで第1Qを終了。

【第2Q】兵庫はリバウンドで優位に立ち、多くのフリースローを得て優勢となる。残り6分、兵庫#5大坪がリバウンドからシュートをねじ込み34-25とすると、大阪はたまたずタイムアウト。大阪はディフェンスを2-2-1プレスからの2-3ゾーンに変更すると、兵庫の勢いは落ち着く。残り3分、大阪はもう一度タイムアウトを取ると、ここから#7中石がミドルシュートや速攻を決め、残り0分、42-32と追い上げる。ここから兵庫#4福本がフリースロー3本とブザービートの3Pを決めて大阪の反撃を断ち、48-34兵庫リードで後半へ。

【第3Q】大阪はディフェンスをマンツーマンに戻す。兵庫#4福本がドライブ、3P、リバウンドからと連続得点し、#7松本のゴール下で59-36と突き放すと、大阪はたまたずタイムアウト。その後はお互いに得点を取り合い、大阪#9和氣と兵庫#8常深が2本ずつ3Pを決める。75-49兵庫が大量リードを奪い、第3Qを終了。

【第4Q】大阪は#10眞田の3Pや#14馬越の速攻バスケットカウント+ワンスローなどで連続得点を挙げ、残り7分、75-59と一気に追い上げる。大量リードの兵庫だがタイムアウトを取り、立て直しを図る。その後、兵庫#8常深が、第3Q終盤からは5本連続となる3本の3Pを決めて、大阪の追撃ムードを断つ。こうして兵庫が95-72で快勝し、決勝進出を決めた。

戦評: 末吉 昭夫 記録: 県立西宮高校